

地域振興推進費事業総括表

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
	1	C 移住	北アルプス地域「農ある暮らし」推進事業	JA大北農産物直売所を「農ある暮らしサポート直売所」とし、農ある暮らしを求める移住(希望)者や地域住民に対し、栽培技術等に関する相談やアドバイスを行う。また、北アルプス地域の移住・観光情報を提供するコーナーを設けて、地域の情報発信拠点としても活用する。	平成31年4月～ 令和2年3月	
	2	A	クレソン特産品化モデル事業	1 モデルほ場団地の設置 ア ほ場の改修(小谷村北小谷李平地区、9a程度) ・水路改修・畦畔補強の資材費及び重機燃料費等の経費。 2 販路開拓 ア 販売先((株)久世)等との商談 ・サンプル出荷(8月、10月) ・情報交換(上記出荷時前後)	平成31年4月～ 令和2年3月	
	3	C 観光	信州花フェスタ2019 北アルプス地域の魅力 情報発信事業	「信州花フェスタ2019 まるごと信州 わくわくデー」に出展し、北アルプス地域の魅力的なグルメ、特産品、観光スポットの紹介を行う。	平成31年4月27 日～29日	
	4	C 観光	北アルプス北部山域イ メージアップ事業	北アルプス北部山域のイメージアップを図るため、登山者用のマナーカードを作成・配布し、登山者のマナー向上に取り組む。 外国人にも啓発できるよう日本語と英語の標記及びピクトグラム表示とする。	令和元年5月～ 11月	
新規	5	C 観光	北アルプス地域ヘルス ツーリズム関連製品開発 等推進事業	北アルプス地域で取り組まれているヘルスツーリズムの普及促進につながる健康関連製品の開発・改良プロジェクトを当地域一体で推進し、地域資源を活用した農工商連携型産業の集積形成を図る。 ①北アルプス地域ヘルスツーリズム関連製品開発等推進協議会の継続運営 ②製品開発等推進プロジェクトチームの継続運営、新規設置に向けた企画	令和元年6月～ 令和2年3月	
新規	6	C 観光	サイクルツーリズム推進 に係る情報発信事業(展 示会出展)	幕張メッセで開催されるサイクルモードインターナショナルに北アルプス地域振興局として出展・PRを行う。	令和元年11月	
新規	7	C 観光	北アルプス地域サイクリ ングモデルコースのPRに 係る事業	北アルプス地域サイクリングモデルコースマップを広く配布してPRを進め、サイクルスポーツの愛好者を地域に呼び込む。また、マップの多言語化等により、インパウンドの増加を図る。	令和元年6月～ 令和2年3月	

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
新規	8	C 観光	農業資産等の観光活用支援事業	農業資産(上原温水路:わっぱらんど)を観光資源として活用しながら、地域の活性化を図る。 ①案内看板の整備 :400千円 ②観光スポットの追加	令和元年7月～12月	
新規	9	C 観光	北アルプス高標高地における野生鳥獣対策	高山植物への食害、登山客への人身被害が懸念される野生鳥獣(ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザルなど)の目撃情報の収集を行い、被害発生に備え対策を検討する。	平成31年4月～令和2年3月	
新規	10	C 防災	防災シンポジウム開催事業	北アルプス地域は、糸魚川・静岡構造線上に位置し、大きな地震が発生する可能性があり、急峻な地形、脆弱な地質から土砂災害も発生しやすく、過去に多くの災害が発生している。 過去の災害の記憶を風化させず、「自助」、「共助」による地域防災力の向上を図ることを目的に防災シンポジウムを開催する。	令和元年11月	
新規	11	C 防災	危機管理セミナー開催事業	糸魚川—静岡構造線上に位置し、急峻な地形、脆弱な地質から災害が発生しやすい当地域において、災害時には行政職員のマンパワーが大きな力となるため、減災に役立つ知識を習得するセミナーを開催し、行政幹部職員の資質の向上と地域防災力の強化を図る。	令和元年12月	
新規	12	C 防災	外国人のための防災対策事業	北アルプス管内は、外国籍県民や外国人観光客が多い地域であることから、外国人が住みやすい訪れやすい安全・安心な地域にするため、災害多言語支援センター設置・運営研修会により市町村の防災体制整備を支援するほか、外国人のための防災訓練を実施する。	①研修会 令和元年7月 ②防災訓練 令和元年10月	
新規	13	C 移住	農業と観光業の雇用のマッチング実態調査事業	季節間の業務量変動が大きいことから通年雇用が困難な「農業」と「冬季観光業」において、安定的に雇用を確保するための施策を検討するため、北アルプス地域の事業者及び就業者へアンケート調査を実施・分析することで、複数の雇用を組み合わせたモデルパターンの整理・提案を目指す。	令和元年6月～令和2年3月	
新規	14	C 移住	ウィキペディアタウン開催事業	若者が地域を学び地域への愛着を深める機会を提供するため、池田町でウィキペディアタウンを開催する。 【池田町】平成31年度に開設予定の町交流センター内の図書館を活用し、町で活動する若者団体や学生等の参加を図り、これまで以上に若者を対象とした事業として構築、実施する。	令和2年3月	

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
新規	15	C 移住	地域おこし協力隊北アルプス地域交流・個別相談会	管内の地域おこし協力隊員の任期中の円滑な活動及び任期終了後の地域への定着を図るため、隊員OB・OG等との交流会を設けるとともに、起業や就農等に関する個別相談を開催する。	令和元年10月	
新規	16	C 移住	北アルプス地域「つながり人口創出」事業	北アルプス地域の自然環境や暮らしなどに関心のある者と、地域や地域の人々を繋ぐことにより、地域に関わる人々(つながり人口)を創出し、新たな地域の担い手や将来的な移住者の増加に資するため、都市部での人口創出イベント(一次会)と北アルプス地域でのイベント(二次会)を開催する。	令和元年9月～11月	
新規	17	C 移住	北アルプス連携自立圏と連携した「北アルプス地域で暮らし・働く」魅力発信事業	H30年度に作成した県外在住の移住希望者をターゲットに北アルプス山麓地域での暮らし、働くことの魅力をアピールするパンフレットを増刷し、移住セミナー等で活用することにより本地域への移住を推進する。 また、県名古屋観光情報センター移住推進員の管内5市町村での視察を行い、中京圏への移住施策の推進を図る。	平成31年4月～令和2年3月	
新規	18	C 移住	シニアの居場所づくり支援事業	身近な地域において、高齢者をはじめとした多世代の人々が「人とのつながり」を実感できる居場所づくりを促進する。 特に、居場所の担い手として、シニアの社会参加を促す。 1 まちの縁側講座(2か所) 身近な地域のまち歩き&ワークショップ 2 居場所づくり実践に係る情報発信 管内のシニアの居場所づくり実践例、「まちの縁側講座」の取組状況をまとめ、リーフレット形式で作成し、関係機関や一般県民住民に向け情報発信する。	令和元年6月～令和2年3月	
新規	19	B	北アルプス地域ACEプロジェクト推進事業	食育、運動習慣の定着、がん検診受診率向上のため、健康づくりに関わる講座を開催し、北アルプス地域における「信州ACEプロジェクト」の推進、及び健康づくりの気運の高揚を図る。	令和元年11月	
新規	20	B	生活習慣病予防対策推進事業	信州(ACE)プロジェクトを推進し、日常生活での身体活動の増加と食生活の改善を図ることにより生活習慣病を予防し、健康的で活力ある地域づくりを行う。	令和元年6月～令和2年3月	
新規	21	A	地消地産推進事業	地域の宿泊施設における地消地産を促進するため、JA直売所等を活用した地域内流通の仕組みを構築する。 ○地消地産に関する研修会の開催 ○取組事例の調査	令和元年6月～11月(調査) 令和元年11月(研修会)	

提出区分	整理番号	課題区分	事業名	事業概要	事業期間	備考
新規	22	A	北アルプスの酒PR事業 (日本酒まるわかりツアー)	「酒蔵ニーズに応える大北産高品質酒米プロジェクト」の取組や同プロジェクトにより完成した日本酒、北アルプス産の日本酒等を首都圏の酒販店、業界紙(誌)等関係者向けにPRすることにより、販路拡大、消費拡大を図る。 ○酒米生産ほ場、アルプス搗精工場、酒蔵を巡るバスツアーの実施	令和元年8月	
新規	23	A	北アルプス広葉樹製品化モデル事業	北アルプス管内で進める「広葉樹林業のビジネス化」の具現化に向け、地域で生産される多種の広葉樹を「製材加工」し、製材品としての販売可能性を実証する。	平成31年4月～ 令和2年3月	
新規	24	A	広葉樹素材生産モデル検証事業	広葉樹伐採現場における素材生産のコスト、樹種や径級ごとの売上実績を把握するため「広葉樹素材生産モデル検証事業」を継続	平成31年4月～ 令和2年3月	
新規	25	A	アカマツ材の利用促進とあわせた健全な森林の育成	北アルプス管内における松くい虫被害は、池田町、松川村から大町市社・常盤地区や大町市・松川村の標高の高い地域へ拡大傾向にあり、地域の被害状況に応じた適切な防除対策を推進するとともに、被害材の利用促進に取り組む。	平成31年4月～ 令和2年3月	